

平成 30 年度横浜緑園高等学校 不祥事ゼロプログラム実施結果

項目	目標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上	常に公務員の自覚をもち、信用失墜行動を未然に防止する。	教職員の不祥事に関する新聞記事を掲示するなどして公務外非行防止の意識啓発を行った。 職員同士お互いに声を掛け合って円滑なコミュニケーションを図り、風通しのよい職場づくりに努めるとともに、職員が主体的に研修に取り組んだ。 サービスに関する研修を行い、教職員の意識を高めた。
わいせつ・セクハラ行為防止	人権意識を高めセクハラ・わいせつ行為を未然に防止する。	セクハラ・わいせつ行為の加害者にならないよう、不祥事防止研修を実施し、意識啓発を行った。 セクハラ・わいせつ行為に関する啓発資料を活用して教育実習生に説明会を開催した。
体罰、不適切な指導の防止	生徒の人権を尊重し、体罰・不適切指導を未然に防止する。	新聞記事や啓発資料などを活用して具体例を提示するとともに、研修会を実施して適切な指導を心がけた。 LHR等で「校内人権窓口」の生徒への周知を図り、生徒が相談しやすい態勢づくりを実現した。
入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	入学者選抜業務、成績処理、調査書発行等のミスを未然に防止する。	成績処理、調査書・進路関係書類発行にあたって、マニュアルに沿って業務を行ない、確認・点検を徹底した。入力・点検時には、必ず複数で点検・確認した。 成績処理に関する事故防止研修を実施した。 入学者選抜制度についての校内研修会を行い、教職員への周知を図った。 職員啓発資料などを活用して、推薦入試や入学者選抜に係るこれまでの事故不祥事の事例などを周知して意識啓発を行った。
個人情報等の管理、情報セキュリティ対策	個人情報を適切に取り扱い、情報の流出を未然に防止する。	個人情報の取扱いに関する啓発資料やチェックシートを職員に配付して意識啓発を図るとともに、職員が講師となり研修会を実施して職員が主体的に事故防止に取り組んだ。 個人情報を持ち出す際の「個人情報持ち出し許可願」による申請など、手続きの徹底を図った。
交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	法規範遵守を徹底し交通事故、飲酒運転を未然に防止する。	新聞記事や職員啓発資料などを活用して、朝の打ち合わせや研修会で交通事故・飲酒運転防止について意識啓発を図った。 飲酒を伴う会合がある場合は、翌日への影響も含めて、自家用車（自転車を含め）の使用を控えることを徹底した。
業務執行体制の確保等	不適正な業務執行を未然に防止する。	日ごろから情報を共有し、気になることはそのままにせず、声をかけ合い、協力して業務を遂行することができた。 6グループ間で業務内容を相互に共有し、協力しながら業務を執行した。
会計事務等の適正執行	公費・私費・現金管理に関するトラブルや不祥事を未然に防止する。	会計担当者連絡会議を設置し、公正な予算編成と適切な会計処理に努め、定期的に私費会計の執行状況を確認することができた。 「若手研修会」にて私費会計の取扱いに関する研修会を開催し、経験の浅い職員の「私費会計基準」「私費会計事務処理の手引」についての理解を深めることができた。 年2回会計監査を実施し、備品の現物照合を行った。

○ 平成 30 年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と平成 31 年度に取り組むべき課題
(学校長意見)

不祥事ゼロプログラムについては、定例の職員会議で研修会を実施するとともに、取り急ぎ扱わなければならない議題については、臨時職員会議や朝の打ち合わせで事故防止について注意喚起を行うなど、教職員の不祥事防止意識を継続して啓発してきた。

会計事務については、書式を統一することにより、チェックしやすい出納簿やファイルを作成することにより、事故防止に取り組んだ。

来年度は情報セキュリティ、セクシュアルハラスメント防止を重点項目とし、不祥事ゼロプログラムを継続し、法令遵守意識の向上、個人情報等の管理、交通事故防止や交通法規の遵守、会計事務の適正執行など、一人ひとりが常に教育公務員としての高い意識を持つように指導していきたい。